



▲6月28日、喜沢小3年生の児童が議場見学に訪れました。

一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例会市議会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会から一般質問の日程を4日間にして、6月11日、12日、13日、14日にかけて、17人の議員が一般質問を一問一答方式で行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要です。



とだがききたい

議員 本市にとって水害は何より問題である。備蓄品倉庫を上層階に移動しなければならぬと考えるが、どうか。

総務部長 福祉保健センターの上層階を確保するとともに、今後新たに公共施設を建設する際には上層階にス



▲中町多目的広場

水害対策

備蓄品倉庫を上層階に

「確保するよう協議する」



議員 防災無線は、いまだに聞こえにくい。非常時に備えるには都合が悪いが、今後の対応は、

総務部長 防災行政無線のデジタル化や増設を進める。

市内の交番

議員 中町多目的広場の交番開設は、地域住民にとっては大きな安心であるが、反面、閉鎖となる地域への細やかな説明が不足ではないか。

富岡節子議員

いか。また、笹目地区は下戸田地区に比べて侵入・窃盗など犯罪件数が多いが、抑止力となり得る交番が必要ではないか。

市民生活部長 住民説明会を開催し、統合後における強化対策を御理解いただき、警戒活動とパトロールの強化対策を実施していく。笹目地区においては、現在の交番は築40年以上と古く、老朽化が進んでいるため、県の交番再編の動きを注視していく。

その他の質問

Q 中町多目的広場内ボール広場の利用時間延長を要望する。

A 周辺住民とも調整しながら、検討する。

市民生活常任委員会では 自転車の安全利用についてのご意見を募集しております。



を募集しております。

自転車は、健康増進に役立ち、環境にやさしいことから、その利用が見直されているところでありますが、その一方で、自転車に関係する交通事故が増加しており、全国的な問題となっています。戸田市も例外ではなく、県内市町村の中でも、自転車事故の発生率が高い状況にあります。

そこで、市民生活常任委員会では年間活動テーマを「安心・安全のまちづくりに向けた自転車条例について」と定め、自転車の安全利用に関する条例の制定に向けて、活発な委員会活動を行っているところです。

自転車の安全利用に関して、ご意見等がございましたら、ぜひお寄せください。

宛先 議会事務局

郵送：〒335-8588 戸田市上戸田1-18-1

FAX：433-2212

電子メール：gikaijimu@city.toda.saitama.jp

締切日：8月31日(金)まで



▲自転車交通安全教室の様子

※パブリック・コメントは別途実施いたします。

討論

今定例会では、請願1件に対して討論を行いました。

賛成 国民への負担増を新たに強いる「社会保障・税一体改革案」に反対し、社会保障の充実、改善を求める請願

賛成 花井 伸子議員
財源の考え方を「応能負担」にせよ

今国会に政府が提案した「社会保障と税の一体改革案」は、6月20日に3党合意した修正案が提出されたが、国会では審議されておらず、議会制民主主義を蹂躪する暴挙である。日本共産党は対案として、税金の無駄遣いを正すこと、不公平な税制を正し、富裕層・大企業に応分の負担をしてもらうこと、さらに、所得税の累進課税の強化で、消費税増税に頼らず、社会保障を充実し、財政危機の打開を行うことができる

と考え、「提言」を発表した。財源の考え方を「応能負担」に切りかえることを求め、本請願に賛成する。

反対 山崎 雅俊議員
一日も早い「社会保障と税一体改革」の実現を

今後、我が国は、超高齢化社会により社会保障費の急騰が見込まれ、社会保障財政は破綻の危機に瀕している。「社会保障と税」の問題については、さらなる行財政改革などによる、より一層の無駄の排除などに取り組みながら、「消費税を含む税」と「社会保障」について、一体として考えるべきである。一日も早い「社会保障と税一体改革」の実現を切に要望し、採択に反対する。

意見書(議員提出・委員会提出議案)を国及び政府に提出

◆「防災・減災ニユール」による社会基盤再構築を求める意見書
防災・減災対策としての公共事業を、緊急かつ集中的に行い、経済の活性化や雇用創出に資する防災対策の実施を、強く求めるものです。

◆このころの健康を守り推進する基本法の制定を求める意見書
すべての国民を対象とした、このころの健康についての総合的で長期的な政策を保障する基本法の制定を、強く求めるものです。

◆年金受給資格期間の10年への短縮を求める意見書
無年金者を多くしている原因の一つである長すぎる受給資格期間の短縮を速やかに実現するよう要請するものです。

※討論……提出された議案等の審議の最終段階で、賛成・反対の意見を述べることを討論と言います。